

やさしいピアノの演奏法入門（その2）

——初心者および学生のための——

鎌田 範 政

（1995年10月16日 受理）

First Step Piano Method for a Beginner and Student

（Part 2）

Norimasa KAMADA

1. はじめに

前回（part 1）として、ピアノの弾き方のうち、主として基本的な音の出し方としての部分について述べた。今回は、（part 2）としてピアノ演奏法の基礎的・基本的な技術（テクニック）について述べたい。このことは、将来にむかって希望に燃える学習者にとって欠くことの出来ない事柄なのである。正確で安定し、しかも柔軟性があり、迅速な運指こそ、この導入期でこそ形成しなければならないからである。

また、この期の指導は非常に根気と注意を指導者に要求する。いい加減な状態のまま見過ごしてしまった結果、却って悪癖を付けてしまうことになってしまっはは何の意味もない。指導者が指を見てそのフォームや音色を確認した上で更に学習者の感覚的な納得をも確認して共有したいものである。

その定着のさせ方について以下述べることにする。

第3章 ピアノ奏法：基礎テクニックの定着

1. 隣接する二本の運指法（2度の奏法）

（1－2）（2－3）（3－4）（4－5）の組合わせ

<指導のポイント>

（1）同時（和音で）に弾く。

注意 ①各指の打鍵する場所（鍵盤との接点）を確認すること。

②2音同時に鳴らすこと。（打鍵のタイミングがずれないように）

③片手での練習をすること。

④左手はオクターブ下で弾くこと。

(2) 交互 (二本の指) に弾く。

注意 ① 2音同時の感覚のままで弾くこと。

② 弾きにくい指の組み合わせは特に入念に練習をすること。

③ 手首は上下に揺すらないようにすること。

[譜例] (1)

Handwritten musical score for Example (1). It consists of two systems, each with two staves. The top staff of each system is labeled '右' (Right) and the bottom '左' (Left). The notation shows eighth-note patterns with various fingerings indicated by numbers in parentheses. For example, in the first system, the right hand starts with fingering (1, 2) and the left hand with (2, 3). In the second system, the right hand has (3, 2) and the left hand has (2, 1).

[譜例] (2)

Handwritten musical score for Example (2). It consists of three systems, each with two staves. The top staff of each system is labeled '右' (Right) and the bottom '左' (Left). The notation shows eighth-note patterns with various fingerings indicated by numbers above or below notes. For example, in the first system, the right hand has fingerings (1, 5), (3, 4), (2, 3), (1, 2) and the left hand has (2, 1), (3, 2), (4, 3), (5, 4). In the second system, the right hand has (1, 5), (3, 4), (2, 3), (1, 2) and the left hand has (2, 1), (3, 2), (4, 3), (5, 4). In the third system, the right hand has (5, 4), (3, 2), (1, 2) and the left hand has (1, 2), (3, 4), (5, 4).

2. 隣接する3指 (3度) の奏法

イ. (1-3) (2-4) (3-5)

ロ. (1 2 3) (2 3 4) (3 4 5) の組み合わせ

<指導のポイント>

(1) 同時（和音で）に弾く。

①各指の打鍵する場所（鍵盤との接点）とフォームを確認すること。

②2音同時に鳴らすこと。（打鍵のタイミングがずれないように）

③片手で練習すること。

④左手はオクターブ下で弾くこと。

(2) 1音対2音の組み合わせで弾く。

①3音同時の感覚でひくこと。

②弾きにくい指の組み合わせは特に入念に練習をすること。

③手首の垂直運動は避けて平行運動のみ。

[譜例] (1)-イ

(1)-ロ

(2)-1

(2)-2 右手 $\begin{bmatrix} \widehat{3\ 2} \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{4\ 3} \\ 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{5\ 4} \\ 3 \end{bmatrix}$

左手 $\begin{bmatrix} \widehat{1\ 2} \\ 3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{2\ 3} \\ 4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{3\ 4} \\ 5 \end{bmatrix}$

(2)-3 右手 $\begin{bmatrix} 3 \\ \widehat{2\ 1} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 4 \\ \widehat{3\ 2} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 5 \\ \widehat{4\ 3} \end{bmatrix}$

左手 $\begin{bmatrix} 1 \\ \widehat{2\ 3} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 \\ \widehat{3\ 4} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 3 \\ \widehat{4\ 5} \end{bmatrix}$

(2)-4 右手 $\begin{bmatrix} \widehat{2\ 3} \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{3\ 4} \\ 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{4\ 5} \\ 3 \end{bmatrix}$

左手 $\begin{bmatrix} \widehat{2\ 1} \\ 3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{3\ 2} \\ 4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{4\ 3} \\ 5 \end{bmatrix}$

3. 隣接する2本の指の運指を確認する奏法

イ. 1指を固定する組み合わせ

右手 $\begin{bmatrix} \widehat{2\ 3} \\ 1- \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{3\ 4} \\ 1- \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \widehat{4\ 5} \\ 1- \end{bmatrix}$ 左手 $\begin{bmatrix} 1- \\ \widehat{2\ 3} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1- \\ \widehat{3\ 4} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1- \\ \widehat{4\ 5} \end{bmatrix}$

<指導のポイント>

(1) 同時（和音で）に弾く。

注意 ①各指の打鍵する場所（鍵盤との接点）とフォームを確認すること。

②とくに弾かない指は真っすぐ伸ばしたり高く上げすぎないこと。

③3音同時に鳴らすこと。（打鍵のタイミングがずれないように）

④小さい手の場合はフォームが崩れない範囲で間隔を拡張していくこと。

(2) 1指と交互に弾く。

①打鍵の接点及びフォームを確認すること。

②手首が垂直に揺れないように平行運動がのぞましい。

③弾かない指を高く上げないこと。

④疲れたら必ず練習を中断して休息を取ること。

(3) 上行・下行 同運指，異運指で練習する。（組合せ）

[譜例]

右手

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

Detailed description: This section contains three numbered musical exercises, (4), (5), and (6). Each exercise is presented on two staves. Exercise (4) features a melodic line with eighth and sixteenth notes and a bass line with chords and eighth notes. Exercise (5) is similar but includes some trills and grace notes. Exercise (6) continues the pattern with various rhythmic values and fingerings indicated by numbers 1-5.

[譜例]

左手

(1)

(2)

Detailed description: This section shows two examples of left-hand techniques. Example (1) shows three measures of chords and triplets in the bass clef. Example (2) shows two measures of chords with triplets and specific fingerings (3, 4, 3 and 4, 3) indicated below the notes.

(3)

(4)

(5)

(6)

4. 同一鍵盤上での指替える奏法

イ. 1指を固定して他指を同一鍵盤上で移動させる組み合わせ

右手 上行	[3 → 2	[4 → 3	[5 → 4
	[1 -	[1 -	[1 -
下行	[2 → 3	[3 → 4	[4 → 5
	[1 -	[1 -	[1 -

左手 下行

1 -	1 -	1 -
3 → 2	4 → 3	5 → 4

上行

1 -	1 -	1 -
2 → 3	3 → 4	4 → 5

<指導のポイント>

- (1) 上行, 下行の運指が異なる(反対)ので注意すること。
- (2) 指を替える際, 出来るだけスムーズに流れるような感じで運指する。
- (3) 右手の下行, 左手の上行は, 難しいので入念に練習すること。
- (4) 最初は速度をゆっくり練習し, 変えた指の音を長く延ばして練習する。
- (5) 練習で慣れたら次第に速度を上げてゆくこと。

[譜例]

予備練習①

予備練習②

右手

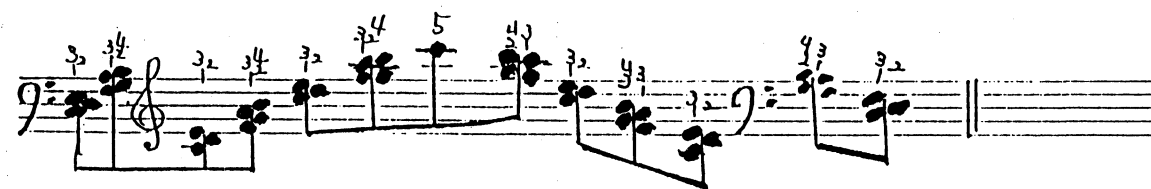
(1)

(2)

(3)－①



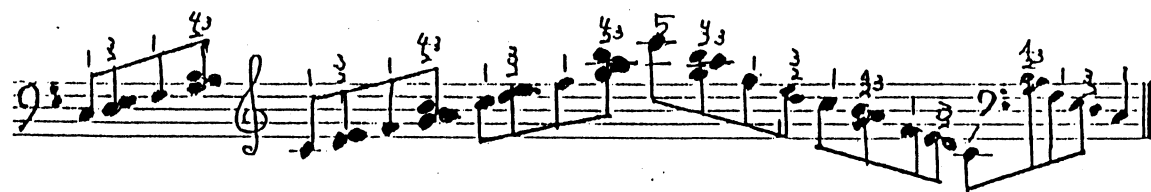
(3)－②



(4)－①



(4)－②



(5)

